

小田原市  
3月議会  
日本共産党  
小田原市議団

# 駅前再開発事業中止・城下町ホール基本設計見直しを 後期高齢者(75才～)医療制度 国に中止を

市民の批判が大きくなりに

## 議会は陳情審査を継続

村井敬設計事務所に委託して作成した、お城通り地区再開発ビルの基本設計と、事業者(株)アーバンのコーポレーションが作成した実施設計を比較すると内容が激変しています。床面積は約2倍、商業施設面積は約2.9倍、国・県・市からの補助金は約15億円で1.5倍、立体駐車場を追加するなど、根本から変更しているにもかかわらず小田原市は「基本設計通り」という態度です。

(下の図・委員会資料参照)

## 城下町ホール 県は慎重な対応

税金63億円を投入し小田原城三の丸地区に建設予定の城下町ホール計画は、文化財調査も終わり、H19年度内着工で進めてきました。ところが、建設費を融資する神奈川県企業庁による、入札公募作業などが当初の予定通りになっていないことから、小澤市長と企業庁の間で2回復文書が交わされました。

この文書では、「当該事業は地域振興施設等整備事業として、貴市からの要請に基づく事業であることから、小田原市民の皆様にご満足いただくべく、慎重な対応を求めたい」と、事実上市長選挙結果待ちの状態になっています。

(左のマスキング報道参照)

## 予算案に3分の1の議員が反対

3月議会はこうした問題を含むH20年度予算案に対して、3分の1の議員(9名)が反対しました。

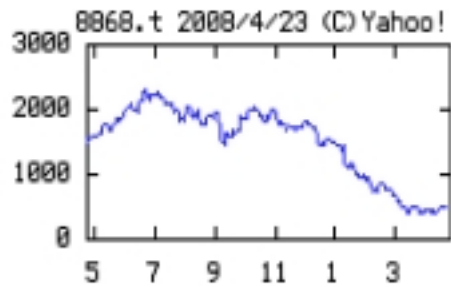
## 1000人をこす市民から問い合わせや抗議 後期高齢者医療制度導入で殺到

日本で怒りの声が上がリ、新聞・テレビはどれも批判的に取りあげている後期高齢者医療制度ですが、日本共産党小田原市議団は市長に対し「国に中止を求める」よう強く求めました。保険料値上げ、高く払えなくなる医療費、少ない年金からの天引きなどで、市役所は1000人をこす市民からの、問い合わせや抗議で殺到しました。

こうした不安を解消するためには、お城通り地区再開発事業の中止や城下町ホールの計画見直しも欠かせません。税金のムダ使いを無くし、市民の暮らしをまもりましょう。

(ヤフーサイトより)

### 株7-パソコーポレーションの株価急落

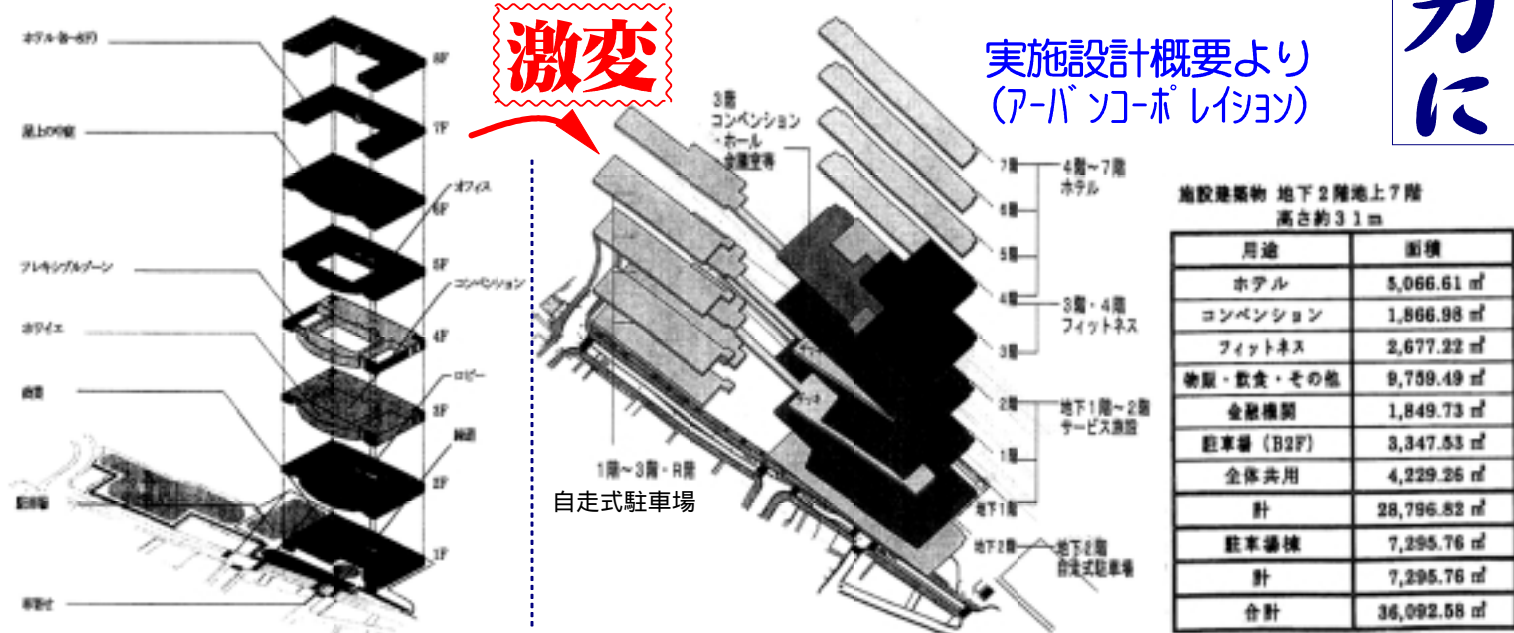


(株)アーバンコーポレーションの株価は昨年7月に2千数百円でしたが、4月現在500円前後に急落しています。

基本設計概要より  
(村井敬設計事務所)

用途	面積
ホテル	6,568 m <sup>2</sup>
コンベンション	3,701 m <sup>2</sup>
フレキシブルゾーン	1,690 m <sup>2</sup>
商業	3,338 m <sup>2</sup>
オフィス	2,967 m <sup>2</sup>
合計	18,254 m <sup>2</sup>

激変



実施設計概要より  
(アーバンコーポレーション)

用途	面積
ホテル	5,066.61 m <sup>2</sup>
コンベンション	1,866.98 m <sup>2</sup>
フィットネス	2,677.22 m <sup>2</sup>
物販・飲食・その他	9,759.49 m <sup>2</sup>
金融機関	1,849.73 m <sup>2</sup>
駐車場 (B2F)	3,347.53 m <sup>2</sup>
全体共用	4,229.26 m <sup>2</sup>
計	28,796.82 m <sup>2</sup>
駐車場棟	7,295.76 m <sup>2</sup>
計	7,295.76 m <sup>2</sup>
合計	36,092.58 m <sup>2</sup>

城下町ホール建設計画中断をマスキングも報道

